



豊富な資料に熱心にメモ



上町2丁目の佐田神社(えびす様)

記念講演は、室蘭工業大学大学院教授の清

末愛砂さんによる「あらたな戦前に抗するー小さな幸せを支える尊厳がおびやかされれない社会をめざして」と題したものでした。清末さんの講演は何度か聞いたことがあり、憲法の話かと思いましたが、時機を得たパレスチナに関する話は聞きごたえがありました。

私は、第二次大戦でナチによるホロコーストを体験したイスラエル人が、今はパレスチナの人々を根絶やしにしよ

二日間、たくさん学んだ後は秋芳洞、秋吉台を巡り、27日は萩をガイドさんの案内で松下村塾などを巡り、実り多い山口を後にして帰路につきました。

(上村文香)

【感想】
○新年早々の運動不足の身体に不安を感じていました。集合場所の高知城ホールで懐かしい方々との再会にすっかり心は軽くなり出発。寺田寅彦邸は身近にありましたが初入館。碑文もここにもあそこにも身近にあつたんだと気づかされました。今回解説の坂本先生の勤務先でアルバイトをしている娘を誘っての参加でしたが、娘も年齢が近い職場の方が参加していたから、すっかり溶け込んでいました。2人が熱心に先頭近くでメモを取っていたのが印象的でした。お城の北からお堀沿いに城西公園→西町→上町をぐるりと回って、気づくと3時間たっていました。

た。ダントツ最後尾を行く私に林先生が歩調を合わせて声をかけてくださって、学生時代のお話など聞かせていただき、楽しく歩くことができませんでした。ありがたうございました。(5月6000歩は歩いたようです)。近世からの土佐の歴史を訪ねると同時に、スイーツのお店も発見しました。みなさんお疲れ様でした。(高知江の口特別支援学校・多田浩子)

昨年11月25日(土)から26日(日)に山口で開催された第68回日本母親大会に参加しました。高知からは、二泊三日と一泊二日の2コースで51名が参加し、大会には、オンラインを含めて全国で12000名の参加がありました。

パレスチナの民族衣装を着て、23年間関わってきたパレスチナの話をしたと、ご自分の研究の歴史も交えて話されました。イギリスに留学していた時に、パレスチナに関心をもち難民キャンプでの出張ア

トリエを通じて子ども達に絵画や折り紙を教えたそうなんです。パレスチナへの入域は非常に難しく、イスラエル軍の許可がないと入れないそうです。

清末さんが、絵を指導していたシャバリエキャンプはミサイルで破壊され、学校、病院も同じです。イスラエルは緩慢な窒息作戦の段階から、あからさまな急速な窒息状態・根絶やし作戦・追放作戦へと進んでいて、ジェノサイド的狀況を示すような事態であり異常です。

パレスチナの民族衣装で講演

日本母親大会

あつたのかと驚きました。普段何気なく見る高知の風景の中に発見があり、歩くことで改めて高知の歴史を感じました。私は現在、県史編さん室でアルバイトをしており、今回の初歩きの案内人である坂本靖さんにお世話になっていますが、坂本さんの知識の豊富さと

健脚に驚き、ついでに約3時間という長い時間歩き続け、足も少し痛くなりましたが、楽しい初歩きでした。今回参加して良かったです。



も神楽による文化行事が上演されました。ちびっこから中学生まで面をつけ見事な舞を披露し拍手喝采でした。

大正アモクラシーの影響を受け童謡を「赤い鳥」などに投稿し、西条八十に才能を認められながらも26歳の若さで自死した生涯が様々な資料と共に語られました。女性には参政権、財産権も親権もない時代にジェンダーへの意識をもつて詩を書いていたことが驚きでした。

生誕120年になるが、基本的な人権、平和主義、両性の平等等があれば死ななかつたかもしれない、改めて現行憲法を守っていかねばならないと思えました。